

令和8年度宮崎県公立高等学校連絡協議会議事概要

1 日時
令和8年5月25日（月） 午前10時から午前11時まで

2 場所
防災庁舎 75号室

3 出席委員（8名）
有井委員、小野委員、福澤委員、永井委員、
後藤委員、山内委員、高原委員、加藤委員

4 議題

- ・令和9年度高等学校進学者の収容対策について

令和9年度定員調整案

＜県立学校＞

令和9年度の募集定員は、令和8年度の募集定員の範囲内とする。

＜私立学校＞

令和9年度の募集定員は、令和8年度の募集定員の範囲内とする。

※ 定員調整については、少子化等の社会情勢の変化を踏まえ、公私双方の役割を尊重しつつ、進学における子どものニーズに対応することや、地域における学校の存在の重要性などを勘案し、公私が積極的に意見交換を行いつつ、継続的に検討していくこととする。

- ・その他

5 内容及び審議結果等

(1) 主な質疑等

- ・定員調整案としては、特に異論はなし。

(2) 主な意見等

- ・広域通信制高校について

- 入試時期等は様々で、年内に進学が決まっている子どももいる。随時相談しながら対応してもらっているのが実情。
- 不登校の子どもが社会の繋がりを持つ機会は生徒・保護者にとってはありがたい、行き先が決まらない場合の選択肢の一つとして通信制を選ぶ家庭は増えている。
- コロナ禍を経て広域通信制で自由度の高い学びができることで、一つの選択肢として認知が進んだのではないか。

- ・協議会のあり方、公私での協議について

- 大きな視点に立った上で、副知事や教育長、県議会議員がオブザーバーとして参加するなど、今後の公私協のあり方を検討していただきたい。
- 公私協の場以外にも、別途公私双方が集まって議論を行う場を設けるなど、公私間でしっかりコミュニケーションを取る必要性を感じている。